

令和4年度（2022年度）
第2回 沖縄歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会

日時：令和5年2月16日（水）

20:00～21:30

場所：沖縄歯科衛生士学校

【出席者】

氏名	所属	種別
上江洲 朝男	琉球大学教職センター 教授	教育・学術機関
仲程尚子	沖縄県歯科衛生士会 監事	業界団体代表
武富良悟	株式会社 沖縄歯科器材 専務	企業
平敷幸浩	沖縄北谷自然海塩株式会社 専務取締役	企業
松園あかね	NPO 法人 キャリエイト 理事	教育・学術機関
米須敦子	沖縄歯科衛生士学校 校長	オブザーバー
古堅信	沖縄歯科衛生士学校 副校長	オブザーバー
中地昭雄	沖縄歯科衛生士学校 教務部長	オブザーバー
志喜屋やよい	沖縄歯科衛生士学校 教務副主任	オブザーバー
眞玉橋由和	沖縄歯科衛生士学校 専任教員	オブザーバー

次第

司会進行：中地教務部長

1. 開会
2. 校長挨拶
3. 出席者紹介
4. 協議事項
 - (1) 令和4年度（後期）学校自己評価結果について
5. 令和5年度 学校関係者評価委員の委嘱について
6. その他
 - (1) 令和5年度 第1回 開催予定について
7. 閉会

第2回 学校関係者評価委員会報告

I. 学校教育目標・重点目標について

- ・学校教育目標三番目に「生涯学び続ける意欲を持つ」は、キャリア教育含め卒業してからの職としてキャリアアップへ繋がることを目的として入れ込んでいる。
- ・教育理念と学校教育目標・重点努力目標との関連性項目を設け、各々の関連性の強弱を可視化して、年度毎に見直したほうが良いのではないか。

II. 各評価項目について

1. 教育理念、目的、人材育成像

- ・教育理念は、常時教室・講堂に掲示している。保護者に対する周知としてHP、学生募集要項、学生便覧や保護者参加の式典等での周知を行っている。今後も更に、入学案内パンフレットや封筒等の印刷物へ教育理念、教育目標を掲載するなど工夫する予定。
- ・授業評価の結果と関連して、理念・目的に沿った学生育成のために、どのような専門分野の講師が必要なのか、そのための評価をしていかなければいけない。

2. 学校運営

- ・学生管理システム自体は運用をし始めているが、出席管理が含まれていない為、その出席管理システム導入に向けて検討している。
- ・学生一人一人の入学（入試）から卒業までの成績、出席状況、模擬試験の結果等を将来的にシステム化し一元化する事で効率化は図れると思うが、費用がかかる。

3. 教育活動

(目標の設定等)

- ・特に問題なし

(教育方法・評価等)

- ・後期の授業評価を行い、その結果を講師の方々に個別で郵送。講師からは様々な反応（改善に向けた取り組みをされる場合、評価に不満を待たれる場合）がある。

(資格試験) (教職員)

- ・専任教員の認定取得が、早期に可能になる方法を進めていけるよう予算化している。

4. 学修成果

- ・卒業後のフォローアップを行い歯科衛生士会と連携を図りつつ、キャリア形成に繋げていくことに期待したい。
- ・資格取得をした学生が、ほぼ100%就職している結果を考えると、歯科衛生士への教育がしっかりと出来ていると捉えられ、学校として凄く良い雰囲気だと思う。

5. 学生支援

- ・特に問題無し
- ・卒業生への支援として、毎年復職支援セミナーを開催し復職へのサポートを実施。
- ・社会人入学者への支援として専門実践教育訓練指定講座の周知を継続。

6. 教育環境

- ・校舎の老朽化、高額機器の経年劣化という課題のためにも減価償却積立を検討

7. 学生募集

- ・入学案内パンフレットに男子学生を起用し、男子入学へのアピールを行っている。
- ・次年度（2023年度）も1人の男子学生が入学予定。

8. 財務

- ・特に問題無し
- ・今後の課題として、校舎老朽化による設備整備の支出増加、又、18歳人口減少に伴う定員充足率の向上・維持に向けての取り組み、更にコロナ等感染対策に係る実習材料費等増に伴う検討が必要。

9. 法令等の遵守

- ・特に問題無し、但し、引き続きSNSは十分に注意喚起を図る。

10. 社会貢献・地域貢献

- ・11月歯科衛生士会が「いい歯の日」のイベントを3年ぶりに開催したので、ボランティア10名参加した。
- ・コロナの感染状況が落ち着いたら、学校でイベントの開催等、地域住民へのアピール等を行ってもよいのではないか。

その他所見

- ・評価「1」「2」をつけた評価者にその理由を記載してもらうと改善策が検討しやすくなるのではという事で、次の評価に取り入れてもらう。
- ・人口減少の中で歯科衛生士の魅力をもっと伝える必要がある。その為にも、小中学生や地域においてキャリア教育を検討する必要がある。
- ・他県での歯科衛生士学校事例（定員割れ、退学等）は厳しい状況であるとの情報の中で、2022年度の本校の在学生の状況は退学、休学者が無し、97%の就職率は評価してよい。
- ・この学校評価の目的は良い評価を目的にしているのではなく、課題を明確にすることが大事なので、改善策を講じ、今後どのようになるかを注視していく。